

美しい 県土づくりNEWS

知恵と工夫

2004 年

Sept 9

岩手県県土整備部手作り広報誌

美しい県土づくり NEWS 2 号

平成 16 年 9 月 1 日発行

編集 県土整備企画室

CONTENTS

Page
2

- 今月の人
清水県土整備企画室長

3

- 特集
花巻空港開港 40 周年

6

- 県民参加・NPO 等協働通信

7

- 知恵と工夫

8

- 県土整備 TOPICS

10

- データウォッチング
- 土木建築作品

11

- インフォメーション

13

- みんなの声

交流・連携ネットワーク、整備中！

花巻空港拡張整備事業(花巻市)

花巻空港の滑走路をより輸送力が大きく、航続距離が長い大型ジェット機の離発着が可能となるよう、2,000mから2,500mに延長整備するとともに、ターミナルを東側に移転・整備することにより、県内全域と全国や海外を結ぶ人、物、情報の交流拠点としての機能を高めます。



●今月の人

県土整備企画室長

清水 眞一郎



県土整備部に異動となり、慌ただしく5ヵ月が過ぎてしまいました。

私はこれまで総務部、企画調整部、環境保健部、林業水産部、生活福祉部、教育委員会事務局で仕事をさせて頂きましたが、初めて県土整備行政に携わり、聞くこと、見ること、全てが新鮮であります、一方ではその役割の難しさを身にしみて感じている昨今です。

近年の国や地方自治体を取り巻く、行財政環境は私がこれまで経験したことがない程厳しいものがあり、そういう中でも、とりわけ、県土整備行政は厳しく、この2年間で公共事業費は平成14年対比で30%減という状況は周知のとおりであります。

社会資本整備はまだ十分とは言えない面があると思い、このような状況を打破し、健全な行財政基盤を確立するため、私共に与えられた当面の使命は、昨年度策定された岩手県行財政構造改革プログラムの実現、そして40の政策を着実に実現することです。

公共事業費が削減されている中であって、県土整備部の職員の方々、特に住民の方々と直接接する現場の方々が士気を低下させてはいまいか、心配をし

ておりましたが、折しも5月下旬から6月初めにかけ、北上地方振興局土木部をはじめ8公所の方々と意見交換をする場があり、いろいろご意見を頂きましたが、幸い皆さんの士気が高いのを感じ安心いたしましたところ です。

我々、県土整備行政に携わる者は、県民の方々に安全で安心して暮らせる良質な社会資本を提供していく義務がありますので、橋本部長を中心に一丸となって、現下の難局をプラス思考で更にこれまで以上に「選択」と「集中」によって乗り切っていく事が肝要であると考えます。

そして、その推進に当たっては常に、「か・き・く・け・こ」⇒「環境・協働・工夫・健康、県民・行動」を念頭に仕事を進める事が大切であると思っております。

また、我々公務員は県民の方々の模範として行動し、真に県民の方々に信頼される確固たる位置を確立する事が必要です。

そのためには、不祥事を根絶しなくてはなりません。ご案内のように7月に、毎月給料支給の日がコンプライアンス確立の日と定められました。私は大変残念でなりません。

企業では以前からコンプライアンスが導入されていたようですが、こういうものが不要な県庁に早くなる事を切望しています。

この小冊子「美しい県土づくりNEWS」9月号が発刊される頃には、少しは今年のこの酷暑から抜け出せることを願っています。

9月の主な 行事予定

●総合防災訓練

- 期日 9月1日(水)
- 時間 7時30分～12時
- 場所 宮古市
- 担当 総合防災室

●都市計画道路藤沢町二枚橋線交通安全祈願祭及び開通式

- 期日 9月1日(水)
- 時間 9時30分～10時30分
- 場所 現地
- 担当 花巻地方振興局土木部

●全国収用委員会連絡協議会東北・北海道ブロック会議

- 期日 9月2日(木)
- 時間 13時～17時
- 場所 盛岡市ホテル東日本
- 担当 県土整備企画室

●第7回大規模事業評価専門委員会

- 期日 9月2日(木)
- 時間 13時30分～15時
- 場所 県庁12階特別会議室
- 担当 県土整備企画室

●三陸沿岸国道並びに鉄道完遂促進協議会

- 期日 9月2日(木)
- 時間 13時30分～16時
- 場所 八戸市
- 担当 道路建設課

●住まいとエネルギーのフェスタ2004

- 期日 9月3日(金)～5日(日)
- 時間 10時～17時
- 場所 盛岡市アイスアリーナ
- 担当 建築住宅課

●御所湖広域公園町場地区園地「基本計画策定懇談会」

- 期日 9月3日(金)
- 時間 19時～21時
- 場所 つなぎ地区活動センター
- 担当 盛岡地方振興局土木部

●くらしのみちゾーン社会実験

- 期日 9月3日(金)～12日(日)
- 時間 9時～17時
- 場所 紫波町日詰商店街
- 担当 盛岡地方振興局土木部

●屋外広告物一斉簡易除却

- 期日 9月10日(金)
- 時間 終日
- 場所 管内主要道路沿い
- 担当 都市計画課まちづくり担当

●住まい☆フェスティバルHOT-1園児・児童絵画審査会

- 期日 9月14日(火)
- 時間 13時30分～17時
- 場所 花巻市民体育館
- 担当 花巻地方振興局土木部

●岩手県土地開発公社平成16年度第2回理事会

- 期日 9月21日(火)
- 時間 13時15分～14時15分
- 場所 アバンサールI
- 担当 県土整備企画室

●岩手県住宅供給公社平成16年度第2回理事会

- 期日 9月21日(火)
- 時間 14時30分～15時30分
- 場所 アバンサールI
- 担当 建築住宅課

●国際チャーター便(花巻～ベトナム)

- 期日 9月25日(土)～29日(水)
- 時間 午前出発
- 場所 花巻空港
- 担当 港湾空港課

●2004火山砂防フォーラム全国大会

- 期日 9月30日(木)
- 時間 13時～18時
- 場所 西根町
- 担当 砂防災害課

特集 1

花巻空港開港 40 周年記念

花巻空港は、昭和 39 年 4 月に東京便が就航してから、今年で 40 周年の記念の年を迎えました。ご案内のとおり、花巻空港は、滑走路 1,200m を有する第 3 種空港としてスタートしましたが、増加する航空需要に対応するため、昭和 58 年には滑走路を 1,200m から 2,000m に拡張し、定期路線も現在では札幌、名古屋、大阪、福岡の 4 大都市と結ばれております。

また、これまでの利用者数は延べ 950 万人に達するなど、本県の高速交通ネットワークの重要な一翼を担い、着実に発展を遂げてまいりました。これも、ひとえに県民の皆さまや国土交通省、株式会社日本航空ジャパンをはじめとする関係各位の御支援、御協力の賜と、深く感謝申し上げる次第でございます。

最近の国内航空分野におきましては、路線の休廃止や減便が懸念されるなど、地方空港を取り巻く環境は大変厳しくなっております。

そうした中で、県では、空港は 21 世紀における本県の経済や社会活動を支える社会基盤として未来を拓く大事な財産であるとの認識のもと、県民にとってより利便性の高い空港づくりを進めるため、滑走路の 2,500m への延長やターミナル地域の移転・拡張整備を進めており、今年度末には滑走路延長を、平成 19 年度には新ターミナル地域を完成させる予定であります。

さらに、ソフト面では、岩手県空港利用促進協議会などと連携して、旅行商品の造成支援、利用促進キャンペーンの展開などに取り組んでおり、こうしたハード、ソフト両面における取組みにより、空港機能の充実に努めるとともに、利便性の高い空港の実現に努めてまいります。

花巻空港が開港 40 周年を契機として、これまで以上に多くの県民の皆様に愛され、さらなる飛躍を遂げることを切に望むものであり、関係各位並びに県民の皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたします。



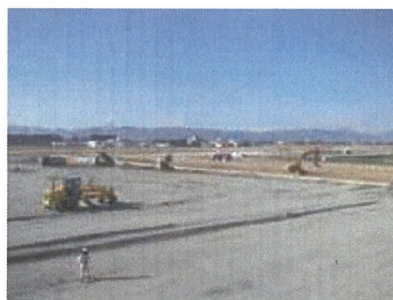
盛大に行われた 40 周年記念式典



家族で空の旅を満喫！(写真：花巻市提供)

平成 16 年度工事概要

- ⊕ 滑走路延長部：舗装工事（舗装、グルーピング工等）
- ⊕ 標識工
- ⊕ 灯火工事
- ⊕ ターミナル地域：インフラ整備
- ⊕ 電源施設
- ⊕ 場外排水施設（A 調整池）工事
- ⊕ 平行誘導路部：植生工事
- ⊕ 着陸帯：植生工事
- ⊕ 場周・保安道路工事
- ⊕ 緩衝緑地：用地造成工事



エプロン路盤工

親子で空の旅を満喫！

花巻市では、7 月 31 日、8 月 1 日の両日、子供たちに花巻空港をより身近に感じてもらおうと花巻市市制施行 50 周年記念「小・中学生花巻の空遊覧体験飛行」が行われました。

当日は、約 90 組の親子が参加。セスナ機に乗り込むと高度 400 メートルで花巻上空を旋回し、遊覧飛行を楽しみました。

昭和

花巻空港 40 年の歩み

より速く、より遠くへ

39 年 2 月 15 日

39 年 4 月 1 日

41 年 10 月 1 日

46 年 6 月 30 日

48 年 11 月 28 日

52 年 6 月 1 日

54 年 5 月 1 日

56 年 4 月 27 日

58 年 3 月 1 日

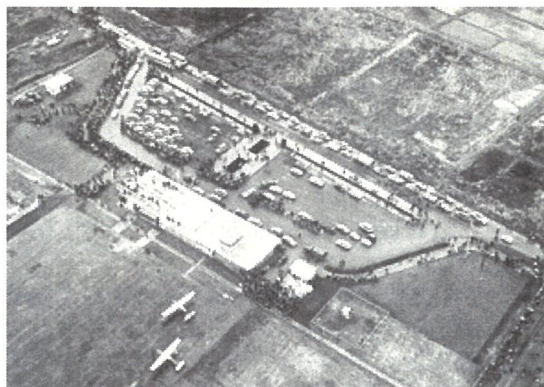
4 月 1 日

11 月 2 日

60 年 6 月 10 日

7 月 1 日

- 供用開始
- 花巻～東京線開設（コンペア 240 型機）
- 東京～花巻～八戸線開設（YS-11 型機）
- 知事、県議会で拡張計画を表明
- 空港拡張用地の買収開始
- 花巻～大阪線開設（YS-11 型機）
- 花巻～札幌線開設（YS-11 型機）
- 乗降客数 100 万人達成
- 2,000m 滑走路の供用開始、
- 花巻～東京線ジェット機就航（DC-9-41 型機）、
- 花巻～札幌線ジェット機就航（DC-9-41 型機）
- 花巻～大阪線の一部（週 3 便）ジェット機就航（DC-9-81 型機）
- 花巻～名古屋線開設（DC-9-41 型機）
- 花巻～東京線休止

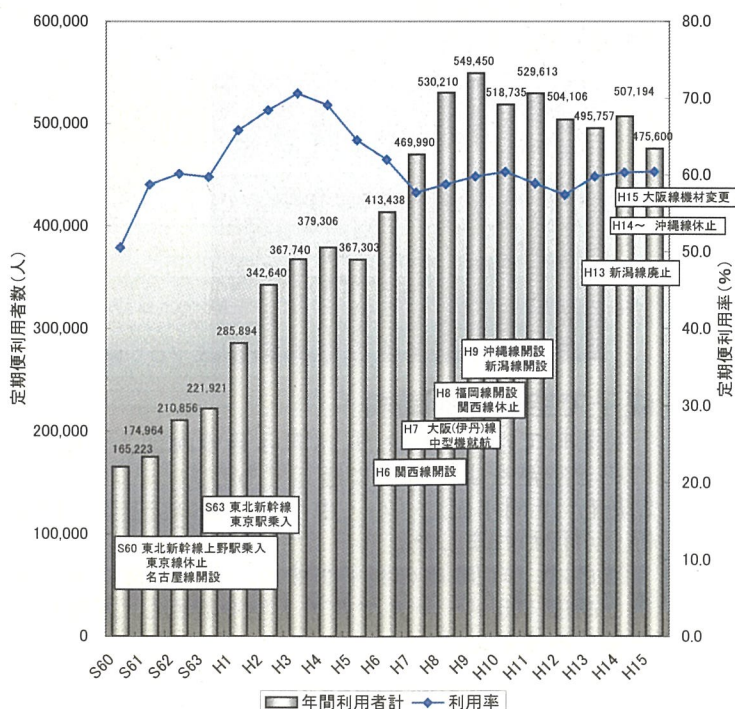


昭和 39 年 3 月 開港式



昭和 39 年 3 月 28 日
一番機に乗り込む乗客

花巻空港年間利用者数推移(定期便)



平成

6 年 9 月 4 日

7 年 4 月 1 日

4 月 25 日

10 月 23 日

8 年 6 月 1 日

9 月 1 日

12 月 13 日

9 年 11 月 1 日

12 月 27 日

10 年 4 月 1 日

13 年 3 月 31 日

14 年 4 月 1 日

15 年 6 月 1 日

6 月 21 日

- 花巻～関西線開設（MD-81 型機）
- 中型ジェット機対応空港として供用開始
- 花巻～大阪線に A300 型機就航
- 乗降客数 500 万人達成
- 花巻～福岡線開設（MD-81 型機）（火、木、土運航）
- 花巻～関西線休止
- 第 7 次空港整備五ヶ年計画に 2,500m 滑走路の組入れを閣議決定
- 花巻～沖縄線開設（MD-90 型機）（冬期間運航）
- 花巻～新潟線開設（JS-31 型機）（日～金運航）
- 2,500m 滑走路の整備事業着手
- 花巻～新潟線廃止
- 花巻～沖縄線休止
- 花巻～大阪線に CRJ-200 型機就航
- 乗降客数 900 万人達成（チャーター一便含む）



昭和 58 年 4 月 花巻～札幌線のジェット機就航

県民参加 協働事業

花巻空港緩衝緑地をつくる会

7月23日（金）、花巻空港の緩衝緑地の整備・管理等について、地域の特色を生かし、地域等と行政が協働し一体となって取り組んでいくことを目的とする「花巻空港緩衝緑地をつくる会」の設立総会が花巻地方振興局長、花巻市長、石鳥谷町長の臨席のもと開催されました。

花巻空港緩衝緑地は、空港施設と空港に近接する周辺住宅地域との間に緩衝地帯として緑地を整備し視覚的な遮蔽効果や景観の向上を図るとともに、周辺の地域住民に安らぎを与えることを目的とし、公園的要素も付け加えレクリエーション活動の場としても利用できるものとして整備するものです。

今回の空港の拡張整備に伴い、花巻空港の緩衝緑地は、既存の約39haに加え、新たに約13haを整備することとしており、併せて約52haになる予定です。

「花巻空港緩衝緑地をつくる会」は花巻空港周辺の次の組織から28名の委員が選出されています。

- ・宮野目地域振興協議会
- ・宮野目区長会
- ・二枚橋地域環境整備推進協議会
- ・花巻空港拡張対策宮野目地権者会
- ・石鳥谷町江曾地区
- ・石鳥谷町直町地区

なお、これらの地区の総世帯数は約2,300世帯にのぼります。



また、事務局は委員から1名の他、下記により構成されます。

- ・NPO法人花巻文化村協議会
- ・花巻市企画生活環境部空港周辺整備対策室
- ・石鳥谷町ふるさと未来推進課
- ・花巻空港管理事務所
- ・花巻空港建設事務所（事務局）

設立総会では規約の採択と役員の選出が行われ、緩衝緑地の整備・管理を地域と行政が協働して取り組む体制が整いました。今後はグラウンドワークの実施や整備計画について具体的な話し合いを進めていきます。

空の日のお知らせ

9月20日は、「空の日」です。

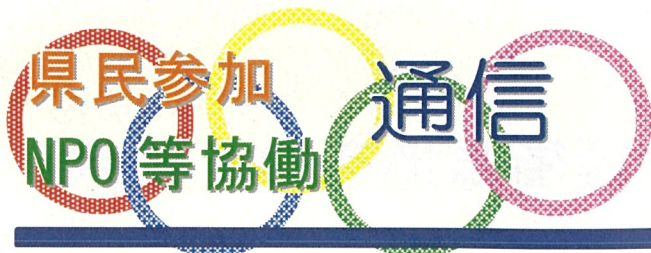
日本の航空活動は、日野・徳川両陸軍大尉が初飛行を行った、明治43年（1910年）にさかのぼります。

それから30年目の昭和15年（1940年）に、日本の航空の歴史を記念し航空思想の高揚と航空技術の振興を図り、航空日本の将来の発展に努めるための国家的行事を実施すべきとの意向が航空関係者の間で強く要望されました。そのため、9月20日を「航空日」と定め、平成4年にはよりソフトな呼び方の「空の日」とし、各種記念行事を行っています。

16年度の主なイベント（予定）

- ✦ 子供と小型機との綱引き
- ✦ 防災ヘリの救助デモンストレーション
- ✦ 遊覧飛行（有料）
- ✦ ディープブルーズによるアクロバット飛行
- ✦ 鹿（しし）踊り
- ✦ 小型機、ヘリコプターの展示 他





県土整備部では、本年3月に「県民参加の推進プログラム」を作成し、県民との協働による県土づくりについて、部を挙げて展開することとしています。

また、社会資本の整備やメンテナンスに当たっては、これまで以上にNPOなどとの協働を積極的に推進していきます。

このコーナーでは、県内の県民参加の活動事例やNPOなどとの協働事例を紹介します。

その1 地域の景観点検 実施団体 決定！

県民共有の財産であるいわての美しい景観を、守り、より美しい景観をつくっていくためには、県民のみなさん自らが地域の景観の状況を認識し、景観づくりにつなげることが重要です。

「地域の景観点検」は、この素晴らしい財産の現状や、財産を損なっているものを再確認し、より美しい景観をつくっていく基礎資料とするため、地域の皆さんの目で、優れた景観、見苦しい景観を点検するものです。

県としては、「地域の景観点検」をモデル的に実施することで、地域住民のみなさんの取り組みを支援したいと考え、地域に根ざした団体等に点検の実施を委託することとして、企画書を公募しました。

ご応募いただいた9団体の中から、次の5団体に景観点検を委託することとしました。

委 託 団 体 名	点 検 区 域
大迫町	大迫町
田中小空蔵自治公民館	田中小空蔵地区
特定非営利活動法人 いわてNPO-NET 事務局	北上市 大通り～本通り地区
特定非営利活動法人 イーティーシー	江刺市岩谷堂、 米里及び藤里地区
特定非営利活動法人 いわてNPO センター	盛岡市材木町地区
特定非営利活動法人 花巻文化村協議会	花巻市二枚橋地区

委託業務の内容としては、点検区域内の住民等により現地踏査を行い、優れた景観（景観資源）と見苦しい景観（景観阻害要因）を抽出、整理して、地域景観マップ、リスト等を作成し、意見をまとめて発表しあう、ワークショップを開催することが主な活動となります。

後日、景観に関するフォーラムを開催して、各団体の代表者に点検の結果や活動の内容などについて、報告していただくことを考えています。詳しいことが決まり次第、このコーナーでお知らせします。



盛岡西圏域河川整備 計画公聴会の開催

盛岡地方振興局土木部では、盛岡市、雫石町、滝沢村を流れる県管理河川（雫石川の御所ダムより上流、葛根田川、鶯宿川、南川、外柵沢川、矢櫃川、諸葛川、木賊川、菓子川）の今後20～30年の具体的な河川整備の目標や河川整備の内容を示す河川整備計画の策定作業を行なっております。

昨年度は、この中でも特に早急な治水対策を必要とする諸葛川・木賊川流域を対象とした懇談会を開催し、整備に関する意見書が提出されました。

この意見書等を受けまして、盛岡西圏域全体の整備計画原案を策定し、今回、この整備計画原案を御説明し、内容に関して広く住民の皆様から意見をいただくために、公聴会を開催しました。

1 開催日時 7月28日(水)18時30分～20時30分

2 開催場所 岩手県民会館 第2会議室

当日は、盛岡市、雫石町、滝沢村などから約60名の参加者があり、関心の高さを窺わせました。

公聴会では、まず、昨年度までに実施した、アンケート調査や諸葛川・木賊川の懇談会の実施状況について説明を行い、原案の説明をした後、参加者からの意見や質問をいただきました。

主な意見は、以下のとおり

- 木賊川の整備は、早く実施してほしい。
- 山奥だけではなく、人里の自然環境にも配慮してほしい。
- 超過洪水が発生した場合の対応については、どう考えているのか。
- 地域が組織的に活動するための支援をしてほしい。

その他にも、これまでの河川の整備についてや、河川環境に関する意見が出されました。

今後の流れとしては、今回の公聴会での意見を踏まえ、さらに内容の検討を行い、関係市町村への意見紹介や関係機関との協議等を経て、圏域の整備計画を決定してまいります。



消雪施設で夏も涼しく！

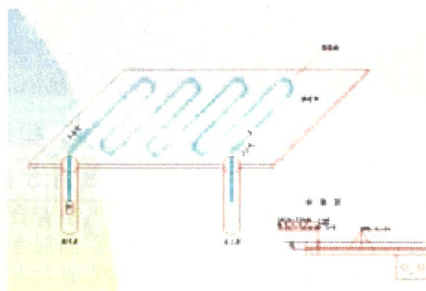
地下水循環型無散水消雪施設の夏期通水実験

1 はじめに

近年、都市部の気温が周辺の郊外に比べ高くなる「ヒートアイランド現象」が問題となっています。そこで、地下水の温度が一年を通じほぼ一定(16℃前後)であることから、冬期のみ使用してきた消雪施設を夏期も活用し、路面温度を少しでも下げることができないだろうかという思いから、8月2日(月)、見物客で賑わう「さんさ踊り」期間中に中央通の消雪施設の点検を兼ね、通水実験を行いました。今回の「知恵と工夫」のコーナーでは、無散水消雪施設の実験結果と今後の課題等について紹介します。

2 地下水循環型無散水消雪施設の仕組み

舗装体の中に放熱管を埋設し、その放熱管の中にポンプでくみ上げた地下水を循環させています。その地下水が持つ熱エネルギーを効率良く路面に伝えることにより、雪を溶かし路面の凍結を防ぐ消雪工法です。今回の取組みでは、地下水の熱エネルギーを温める方向ではなく、冷やす方向に活用するものです。



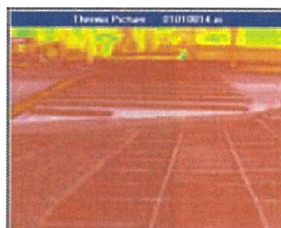
3 通水実験の概要

「さんさ踊り」の前日(7/31)夕方から、最終日の翌日(8/4)午前中まで通水をしました。通水実験は、東北銀行から七十七銀行までの約1.7km区間で実施。路面の温度状況を熱映像カメラや放射温度計を用い、13地点で測定を行いました。

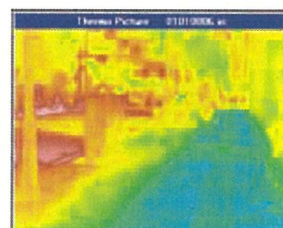
路面温度測定機器



通水なしの場合



通水ありの場合



4 実験の結果

熱映像カメラ、放射温度計で測定した結果、通水部と非通水部の路面温度差は歴然であり、最大で13.4℃の差がありました。(非通水部 52.4℃、通水部 44.0℃) また、通水部に手をあててみると、周りよりも温度が低くなっているのを体感できました。

さんさ踊りの見物客にも、何気ない涼しい感触を味わって頂けたのではないのでしょうか。

5 今後の課題

今後の課題としましては、次のようなことを考えています。

- 空気中の温度差や体感温度の効果検証
- ランニングコストの把握
- 地下水循環型以外の消雪施設の活用法
- アンケート調査の実施
- マスコミや県民へのPR

今後は、体感温度等の効果検証を行いながら、次年度以降も「さんさ踊り期間限定の行政サービス」として継続できればと思っています。

盛岡市中央通の地下水循環型無散水消雪施設の実験結果

測定点		測定の状況		測定結果	
番号	名称	時間	状況	温度(℃)	備考
1	通水開始	7:30	晴	44.0	通水部
2	通水開始	7:30	晴	52.4	非通水部
3	通水開始	7:30	晴	44.0	通水部
4	通水開始	7:30	晴	52.4	非通水部
5	通水開始	7:30	晴	44.0	通水部
6	通水開始	7:30	晴	52.4	非通水部
7	通水開始	7:30	晴	44.0	通水部
8	通水開始	7:30	晴	52.4	非通水部
9	通水開始	7:30	晴	44.0	通水部
10	通水開始	7:30	晴	52.4	非通水部
11	通水開始	7:30	晴	44.0	通水部
12	通水開始	7:30	晴	52.4	非通水部
13	通水開始	7:30	晴	44.0	通水部



「いわての川づくりプラン懇談会」開催

8月5日(木)

8月5日(木)、午後1時30分から岩手県教育会館において、「いわての川づくりプラン懇談会」が開催されました。懇談会では、事務局より河川整備基本方針などの策定状況や、昨年度の懇談会でいただいた主な意見とその対応、関口川及び織笠川水系河川整備基本方針(案)について説明しました。

委員からは、「洪水情報を容易に入手できるように考えてほしい」、「内水ポンプは内水被害が解消できる規模のものなのか」、「洪水に不安を感じている住民は、内水被害に不安を感じているのではないか」等の意見が出されました。

次回懇談会では、関口川及び織笠川水系河川整備基本方針(案)及び計画規模決定の考え方などについて、補足説明を行うこととしています。



建設業者の新たな挑戦を支援します！

8月5日(水)

8月5日(木)、両磐地域職業訓練センターにおいて「建設業新分野進出支援セミナー」が開催されました。

当日は、千厩管内の建設業の代表者80名余りが参加。講演では、農業や介護・福祉、リサイクル事業の環境関連など、建設業以外の分野で成果を上げている全国の実績事例が紹介されたほか、実践発表として、建設業者5社で農業生産法人を立ち上げ、無農薬・高付加価値の米の生産と首都圏などへの販路の開拓に取り組んでいる宮城県の建設業者や、地域農家と融和を図りながら、りんどう栽培で着実に収益をあげている県内業者による説明が行われました。

今後、千厩地方振興局では、新分野への挑戦を考えている建設業者に対して、個別に要望や相談に応じるなど、地域特性を活かし地域と共存できる事業の展開に向けて、可能な限り支援していきます。



土砂災害危険防止施策検討委員会

8月2日(月)

8月2日、釜石市内において第2回土砂災害危険防止施策検討委員会による現地視察が行われた。

現地調査では、平成14年の台風6号による土石流災害箇所や宮城県沖地震での崩落現場等、3箇所を視察。その後、自主防災組織の方から、「普段水のない場所が濁流となり、近隣の老人を抱えてブロック積の上を逃げた時、後が全て飲み込まれた」など、非常に生々しい災害の体験談が紹介されました。また、意見交換会では、「施設の防御もだいじではあるが、避難や土地利用等のソフト対策の重要性を指摘する意見がだされました。



堤防等の河川管理施設の緊急点検を実施

7月29日(木)

「平成16年7月新潟・福島豪雨」及び「平成16年7月福井豪雨」において、河川堤防等に甚大な被害が発生しました。このため、堤防等の河川管理施設の状況を再度確認するため、8月に県が管理する堤防等の河川管理施設の緊急点検を実施しました。

緊急点検では、職員が護岸の基礎部の変状や堤防のり面の亀裂、もぐら等の小動物の穴などを点検してまわりました。



やさしい道を考える

水沢地方振興局 8月10日(火)

8月10日に道の日イベント「優しい道」を考えるを開催しました。当日は、「バリアフリー対策について」と題してアクセシブル江刺の門脇生男代表からお話をいただいた後、現地点検を行いました。

車椅子に乗っての現地点検では、マウンドアップ型の歩道の乗り入れ部において、勾配がきつと感じる箇所が多数ありました。また、視覚障害体験では、信号機に音が無いところや点字ブロック上に自転車が放置されている箇所が危険と感じました。

この日の体験を通して、工事の設計・施工する際に、交通弱者に配慮したつもりでも、交通弱者の方々には不便とすることがたくさんあるということ、身をもって感じました。今後は、いろいろな立場の方々から意見を聞きながら、すべての人に優しい道づくりを心がけていきたいと思っています。



「九戸政実」ゆかりの地を訪ねる

二戸地方振興局 8月8日(日)

8月8日(日)に、「道の日イベント」を実施しました。

二戸土木の「道の日イベント」は、歴史の深い道を歩くというもので、今年は九戸村の戦国の英傑である、「九戸政実」に関係のある道を専門家の説明を受けながら歩きました。約150名の参加があり、イベント終了後にアンケートをとりましたが、皆、イベントを楽しまれていったようでした。

アンケートの意見も参考にして、来年は、より参加者が楽しめるような道の日イベントを提供していきたいと思っています。



様々な取組みにより、道の日をPR

久慈地方振興局 8月10日(火)

久慈地方振興局土木部では、今年度は8月5日(木)に「一般国道395号の清掃活動」を開催いたしました。この清掃活動には、岩手県建設業協会久慈支部青年部をはじめとする86名の方々が参加。久慈市新井田から大野村平根(赤石峠)までの区間を清掃しましたが、収拾結果は、可燃ごみ290kg、不燃ごみ180kgにものぼり、改めてごみの多さに驚かされました。

また、8月10日(火)には、久慈市十八日交差点および久慈市長内町交差点において、「久慈地方道路をまもる会」主催の街頭広報活動(道の日グッズ配布)に参加し、PR活動を展開しました。

このほか、8月31日(火)には普代村立普代小学校において、5年生の児童を対象に道路愛護に関する授業を開催することとしています。



地域みんなで花壇清掃!

千厩地方振興局 8月10日(火)

8月10日(火)に千厩土木・岩手県建設業協会千厩支部青年部・女性マネージングスタッフ協議会千厩支部の主催で道の日イベントを開催しました。

当日は、120人もの方々が参加し、道の日パンフレットやハーブ苗木等の配布のほか、高所作業者による運転監視や花壇清掃・ゴミ拾いを行いました。

データウォッチング

本県の社会資本整備の状況等をデータで見るコーナー。今年度作成しました「県土整備年報'04」からご照会いたします。県土整備年報は、ホームページでもご覧になれます。アドレスはこちら

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0600/nenpou.htm>

橋りょう延長のベスト10

順位	路線名	橋りょう名	延長
1	国 343号	藤橋	705.0
2	一 相川平泉線	高館橋	624.4
3	一 繫温泉線	繫大橋	629.0
4	国 397号	小谷木橋	595.3
5	一 広瀬三ヶ尻線	江崎大橋	586.2
6	一 相去飯豊線	九年大橋	530.0
7	主 水沢米里線	桜木橋	519.7
8	一 長坂東稲前沢線	赤生津橋	513.6
9	一 長坂東稲前沢線	箱石橋	512.0
10	一 江崎金ヶ崎線	金ヶ崎橋	510.0

単位：m



土木建築作品

Vol. 2 開運橋

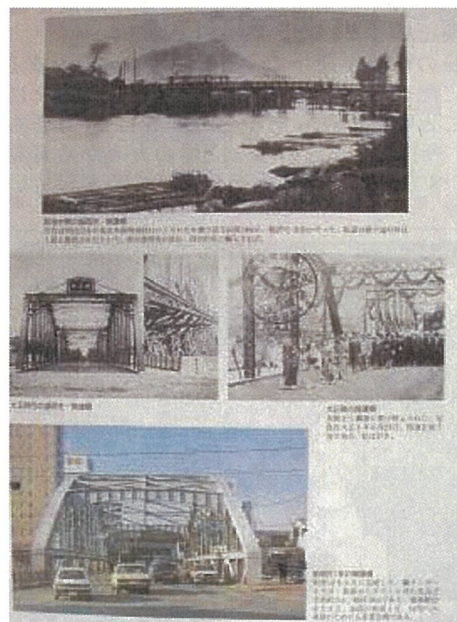
KAIUN-BASHI

県民に親しまれてい
る文化的価値の高い
土木建築作品を紹介
するコーナー

岩手県には南北に流れる大河北上川があり、北上平野を東西に分割しています。四十四田ダム湖にかかる岩姫橋（主盛岡環状線）から、宮城県に程近い北上川橋（主花泉藤沢線）までのおよそ180kmの間に、東西の交流や物流を一手に担ってきた県管理の橋梁が26あります。これらの橋群が、昔から人々の暮らしを支え、また人々に愛され、岩手の歴史を築いてきた大事な建築物であるといえるのではないのでしょうか。その中のいくつかをシリーズで紹介し

【開運橋】

明治23年(1890)に、盛岡市の新しい玄関口として、東北本線東京～盛岡間開通1ヵ月前に木橋（私橋）として架橋されました。当初は通行料金（橋銭）を徴収しておりましたが、庶民からの評判が悪く、翌年には市が買収し、後に県に編入されたものです。明治29年、明治43年の洪水で流失し、大正6年(1917)に、2径間の永久橋となりました。橋材をアメリカに発注し、バンクーバー経由で2隻の船で運搬される予定であったものが、1隻はドイツの潜水艦の魚雷攻撃で沈没し、日本に到着した1径間分を見本に、残る1径間分を横浜ドックで造り架橋したという逸話が有名です。（第1次世界大戦中は開運橋を日米の混血児と言っていたそうです）。現橋は土木研究所の猪瀬氏の設計で昭和28年にランガートラス式で完成したものです。（→昭和橋も）。



「いわての土木遺産100選」（（財）岩手県土木技術振興協会発行）
で紹介されている当時の開運橋の様子



Information

内容等につきましては、
各担当にご確認願います。

募集等 のお知らせ

●簡易除却ボランティアの募集

まちの景観を損ねている違反
はり紙を自主的に簡易除却する
団体を募集します。

- 募集期間
8月30日(月)～10月1日(金)
- 除却推進団体の認定
地方振興局長が町内会やボ
ランティア団体等を除却推進
団体として認定
- 認定要件
満20歳以上の者が2名以上
在籍していること
- 認定の申請先 主な活動地域
を管轄する地方振興局土木部
- 認定期間
認定の日～17年3月31日
- 担当 都市計画課
(TEL019-629-5892)

●景観サポーターの募集

岩手県では、岩手山麓・八幡平
周辺景観形成重点地域と、平泉周
辺景観形成重点地域で、景観づく
りに自主的かつ積極的に参加し
て、提言や実践活動を行う、景観
サポーターを募集しています。

- 登録期間
平成16年10月1日(金)～
18年9月30日まで(2年間)
- 応募資格
盛岡市、西根町、雫石町、滝
沢村、松尾村、一関市、平泉町、
前沢町、衣川村に在住する20
歳以上の方
- 募集期限 9月17日(金)
- 申込書
県庁都市計画課、盛岡・一関
両地方振興局土木部、関係市町
村に申込書があります。
- 応募先
都市計画課まちづくり担当
TEL019-629-5892

●被災地危険度判定士養成講 習会受講者の募集

- 開催日時
9月17日(金)
13時30分～16時30分
受付:13時から
- 場所
岩手県盛岡地区合同庁舎
大会議室
- 会費 無料
- 申込締切 9月10日(金)
※開催事務担当必着
- 受講者数 60名
※定員になり次第締切ります
- 担当 都市計画課まちづくり
担当 TEL019-629-5892

イベント等 のお知らせ

●東北自動車道社会実験の実 施

盛岡都市圏中心部の国道4号等の
一般道の渋滞緩和と沿道環境の
改善策を探るため、東北自動車道
で高速料金を一時的に引き下げ
る社会実験を行います。

- 実施期間 10月中旬から約2
ヶ月間
- 割引対象区間
盛岡南IC～滝沢IC
(3ICの相互間の交通に限定)
- 割引率 最初の1ヶ月3割引
次の1ヶ月5割引(予定)
- 対象車 全ての車種
- 担当 道路建設課

●第27回東北地方道路写真 コンテスト入賞作品の展示

- 開催日時
9月10日(金)～9月12日(日)
10時～19時(但し最終日は17
時まで)
- 場所
イオン盛岡ショッピングセ
ンター「イオンホール」
- 担当 道路建設課

●盛岡シネマタウン社会実験 (トランジットモール&オープン カフェ)

- 実施期間
10月2日(土)～10日(日)
10月23日(土)～31日(日)
- 内容
① 大通における一般車両進入
禁止
② 小型低床バスの運行
③ オープンカフェ&ワゴンセ
ールの実施 等
- 場所 盛岡市大通・菜園地区
- 担当 都市計画課

●屋外広告の日

9月10日は屋外広告物の日。当
日、県内各地で違反広告物の簡易除
却を行います。

県では、岩手の美観風致を維持す
るために、また、壊れた看板などで
危害が及ばないように、屋外広告物
条例に基づいて、はり紙や看板、あ
るいは建物の壁などに文字や絵を
書くといった屋外広告物の規制を
行っています。

規制を受ける地域は、主に国道や
県道の周囲1km、文化財の周辺や都
市計画区域内など。なお、歩道橋な
ど広告物を表示することが禁止さ
れている物件や、自家用の広告物で
あっても許可が必要な場合もあり
ます。詳しくは、都市計画課(TEL
019-629-5892)まで

●携帯電話による河川情報

携帯電話で県内の雨量、川の水
位、ダムの水位などの河川情報を見
ることができます。携帯電話版岩手
県ホームページの河川情報からご
覧ください。アドレスは、

[http://www.pref.iwate.jp/i
nfo/list/l.html](http://www.pref.iwate.jp/info/list/l.html)

気象警報などが、みなさまの携帯電
話にダイレクトでメール配信され
る、「いわてモバイルメール」も、
あわせてご利用ください。詳しく
は、河川課(TEL019-629-5903)まで



番組の内容は岩手県のホームページ「県政番組
いわて情報ステーション」でご覧になれます。
<http://www.pref.iwate.jp/magazin/index.html>

タイトル：「シリーズふるさとの森・川・海2 川で遊ぼう！」

シリーズでお送りしている「ふるさとの森・川・海」の第2弾。
岩手大学人文社会学部4年生の小原さんと熊谷さんが川の魅力について
たっぷり紹介しました。
鮎釣りやカヌーに初挑戦！果たして結果は…？

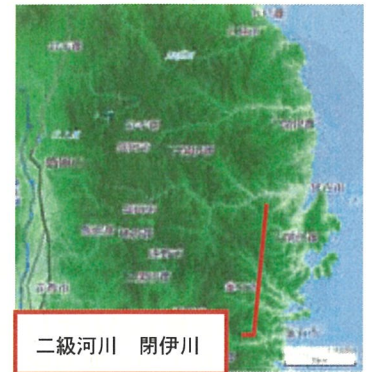
お問い合わせ先：県庁河川課 (019-629-5901)

① イントロダクション

川井村、新里村、宮古市を流れる閉伊川。
川井村の山中に、閉伊川流域の住民が植林
を行っています。この森から閉伊川へと栄
養分が流れ込み、やがて宮古の海へとたど
り着くのです。

【閉伊川】

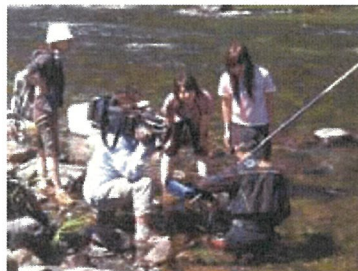
北上山地の兜明神岳を水源にし、
区界高原を東流し、国道106号と
交差しながら川井村・新里村を流
れ、宮古湾に注ぐ75.7kmの川。



二級河川 閉伊川

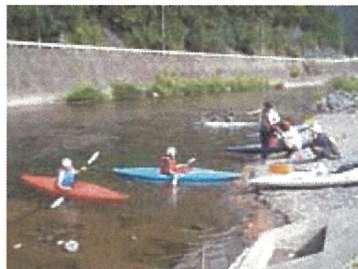
② 鮎釣りに挑戦

2人が訪れたのは、新里村。ここで鮎釣りに初挑戦！



③ カヌーに挑戦

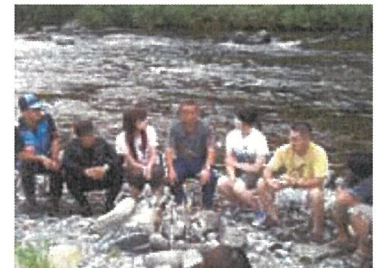
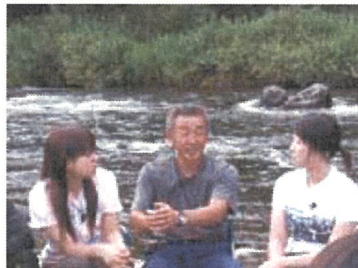
実は閉伊川はカヌーの愛好者がたくさん
訪れる川。県内はもとより、全国各地からカ
ヌーリストたちが集まるそうです。



④ 母なる流れ閉伊川

飲み水や生活用水として利用され、多くの
動植物を育てる川は、私たちの生活になくて
はならないものです。また、人々が川で遊び
ながらふれあい、自然と親しめる場としても
大切な役目を果たしているんですね。

川で思い切り遊んでお腹がすいた2人。閉
伊川の鮎を焼いて食べることに……。川原
のバーベキューには閉伊川漁業協同組合の
裏野さんをはじめ、たくさんの方が集まりま
した。豊かな恵みをもたらす「川」。それを
守っていくのは、私たち一人一人です。



水の番人

「森は海の恋人」という標語をつくって、大きい賞をもらった三陸の漁民がいる。
彼にとっては、蒼く、深い森から生まれる川の恵みを受けて、はじめて豊かな海が育つということは少年のこ
ろからの実感だったに違いない。

森と川と海、万物を育てるこの絶妙な自然の相関に目を据えて、川にすむすべての生物の生長を通じて、われ
われは今、このような時代だからこそ、「日本の水の番人」になろうではないか。

出典：母なる流れ/閉伊川漁業協同組合創立40年史

みんなの声

1 opinion/idea/proposal/recommendation

岩手県全土でどんどん道路を作るのはもう止めるべきだ。公共事業は好景気の時にやればいいと思う。

2004/01/06/不明/電子メール

道路は、日常生活や産業経済活動を支えるということのほかに、安全で快適な県民生活の実現を図るうえで欠くことのできない最も基本となる社会資本です。特に、広大な面積を有する本県においては、自立した地域社会を実現するため、広域的で多様な交流と連携を促進する高規格幹線道路から市町村道に至る総合的な交通ネットワークの構築が重要な課題となっています。

本県の実情を見ると、まだ高速道路や海沿いの縦断軸が整備途上であり、一般国道や県道でも交通不能区間、あるいは冬場の時期の通行止め区間などが数多くあり、これらが県民生活や産業経済活動の大きな妨げになっていることを勘案すると、本県の道路整備は、いまだ十分な状況でなく、整備を継続する必要があると考えています。

一方、近年はこれまでの経済成長期とは異なり、経済・財政環境は非常に厳しい状況にありますので、本県のこのような背景を踏まえ、道路整備にあたっては、地域の皆様方の御意見、御要望を十分に伺いながら、公共事業評価などによって事業の重点化を図るとともに、コストの大幅な縮減を図りつつ、地域の実情に応じた道路整備に取り組むなど、効率的な整備に努めていきたいと考えています。

2 opinion/idea/proposal/recommendation

川べりに土砂が堆積した状態の河川がたくさんあるが、その状態で放置しておくとう洪水の際に堤防が決壊しやすく、多くの修復費用がかかる。土砂が積もった状態のときに予防的に土砂を取り除く工事をする必要がある。

2004/01/19/盛岡市/ファクシミリ

河川の堆積土砂については、御提言のとおり洪水による護岸の決壊などを未然に防止するためにも、堆積の状況に応じて除去することが必要であると考えています。

なお、砂利採取業者から河川区域内の砂利採取の申請があった場合、河床が低下し、護岸が決壊するなどのおそれがある箇所は、認めていません。

今後とも、限られた予算ではありますが、定期的に河川の巡視を行い、緊急を要する箇所から堆積土砂を除去するなど、適正な維持管理に努めていきます。

県では、フリーダイヤル、ファクシミリ、手紙、はがき、電話、インターネットなどを通じて、皆さんの意見・提言をお聴きしています。このコーナーでは、平成 16 年 1 月から 3 月までに寄せられた県政提言等の内容について、主なものを紹介いたします。

3 opinion/idea/proposal/recommendation

国土交通省では既に実施しているようだが、公共事業の完成検査に評価システムを導入してはどうか。検査の結果、実績のよくない業者は入札参加者名簿からはずし、立派な仕事をしたところを入札参加者にするなど、業績を評価してほしい。

2004/03/30/大東町/フリーダイヤル

本県では、従前から、「請負者施工成績評定要領」に基づき、工事の完成検査が終了した時点で施工成績の評定を行っています。

工事施工成績の実績については、県営建設工事請負入札参加資格の審査において主観点の主要項目の一つとして評価しており、さらに、工事施工成績評定点が 65 点未満（100 点満点）の業者については、文書警告により是正改善を求めるとともに、入札参加者の指名において警告後 1 月間入札参加ができない取扱いとしています。

4 opinion/idea/proposal/recommendation

盛岡市内において、たくさんの人が歩いている中で自転車に乗っている人を見かけたが危険である。

自転車用の道路があればいいと思う。

2004/03/12/紫波町/文書

道路は、車やバイクが通る部分、自転車が通る部分、人が通る部分に分かれていれば安全で理想的です。

しかし、まちの中にある道路は、両側に家などがいっぱい建ち並んでいるところがあります。

このような道路の幅を広げて自転車の通る部分をつくるには、たくさんの時間とお金がかかることから、すぐには自転車用の道路をつくることは、むずかしい場合が多いです。

これからは、今ある道路を、自動車から歩行者や自転車にゆずる工夫などをし、お互いが安全に通ることができるような仕組みなども、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。